

平成 27 年度 第 1 回 治験審査委員会

1. 日時:平成 27 年 5 月 18 日(月) 午後 5 時 30 分～午後 6 時 30 分

2. 場所:治験管理室

3. 出席者 13 名

委員長	医師	副院長	味岡 正純
副委員長	薬剤師	薬剤部長	鷹見 繁宏
委員	医師	参事	三竹 重久
	医師	消化器内科部長	松浦 哲生
	医師	外科部長	大河内 治
	検査技師	臨床検査部技師長	瀧本 淳
	看護師	看護管理部長	水野 康子
	看護師	外来第一係看護師主任	小山田 信子
	事務職	業務部長	丹羽 訓
	事務職	庶務課長	鈴木 成人
	事務職	会計課長	稲垣 克之
外部委員		元公立瀬戸旭看護専門学校事務局長	横江 俊次
		元瀬戸市ノベルティ子ども創造館館長	加藤 流慈

欠席者 3 名

医師	呼吸器・アレルギー疾患内科主任部長	近藤 康博
医師	整形外科部長	相良 学爾
医師	腎臓内科部長	稲葉 慎一郎

審議については、治験審査委員会標準業務手順書の第5条の4を満たしたため、会が成立審議を始めた。

4. 議題

【審議事項】

- 1) 左室駆出率が低下した日本人慢性心不全患者を対象とした LCZ696 の第Ⅲ相試験
(ノバルティスファーマ)
⇒これまでに得られている臨床試験成績に基づき、治験実施の妥当性について審議した。
審議結果:承認
- 2) 除細動を実施する非弁膜症性心房細動患者を対象にアピキサバンの有用性評価を標準的な抗凝固療法を対照に行うことを目的とした国際共同製造販売後臨床試験 (第Ⅳ相)
(ファイザー)
⇒これまでに得られている臨床試験成績に基づき、治験実施の妥当性について審議した。
審議結果:承認
- 3) Pearl Therapeutics, Inc. による COPD を対象とした第Ⅲ相試験
(Pearl Therapeutics)
⇒これまでに得られている臨床試験成績に基づき、治験実施の妥当性について審議した。
審議結果:承認
- 4) グラクソ・スミスクライン株式会社の依頼による GW685698/GW642444 の COPD を対象とした第Ⅲ相臨床試験
(グラクソ・スミスクライン)
⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。
審議結果:承認

- 5) 第一三共株式会社の依頼によるがん疼痛患者を対象とした DS-7113b 注射剤第Ⅱ/Ⅲ相試験
(静脈内投与)
(第一三共)
⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。
⇒(2015.4.27) 説明文書、同意文書、治験参加カード、治験分担医師の変更について審議した。
審議結果:承認
- 6) ACZ885 の心筋梗塞後の安定した患者を対象とした第Ⅲ相試験
(ノバルティスファーマ)
⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。
⇒(2015.4.27) 治験分担医師・治験協力者リスト、治験分担医師、治験契約書第1条の変更について審議した。
審議結果:承認
- 7) 喘息患者を対象とした KHK4563 の第Ⅲ相臨床試験
(協和発酵キリン)
⇒(2015.4.30) 治験分担医師の変更について審議した。
審議結果:承認
- 8) アステラス製薬依頼の感染性腸炎を対象とする OPT-80 の第Ⅲ相試験
(アステラス)
⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。
⇒(2015.4.30) 治験実施計画書補遺2、治験薬概要書(2015.4.30) 治験分担医師の追加、治験分担医師の削除の変更について審議した。
審議結果:承認
- 9) トーアエイヨー株式会社の依頼による TY-0201 の第Ⅱ相試験
(トーアエイヨー)
⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
⇒(2015.4.24) 治験分担医師の追加の変更について審議した。
審議結果:承認
- 10) ノバルティスファーマ株式会社の依頼による慢性心不全患者を対象とした SPP100 の第Ⅲ相試験
(ノバルティスファーマ)
⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。
⇒(2015.4.27) 治験分担医師・治験協力者リスト、治験分担医師、治験契約書第1条の変更について審議した。
審議結果:承認
- 11) 小野薬品工業株式会社による ONO-6950 前期第Ⅱ相試験
(小野)
⇒(2015.4.28) 治験分担医師、治験実施計画書、同意説明文書、同意説明補助資料、被験者の募集手順(広告等)に関する資料、治験参加カード、被験者への支払いに関しての変更について審議した。
審議結果:承認
- 12) 気管内挿管が行われ、人工呼吸器が装着されたグラム陰性菌性肺炎患者を対象として、BAY 41-6551 による補助療法の安全性及び有効性を検討することを目的とした前向き、無作為化、

二重盲検、プラセボ対照、多施設共同、国際共同治験

(バイエル薬品)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

⇒(2015.4.21) 治験薬概要書、治験分担医師の変更について審議した。

審議結果:承認

13) ノバルティスファーマ株式会社の依頼による急性心不全患者を対象とした RLX030 の第Ⅲ相試験

(ノバルティスファーマ)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒(2015.4.27) 治験実施計画書、治験分担医師・治験協力者リスト、治験分担医師、治験契約書第1条の変更について審議した。

審議結果:承認

14) 喘息患者を対象とした CAT-354 の有効性及び安全性を検討する第Ⅲ相試験

(アストラゼネカ)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

審議結果:承認

15) 中外製薬株式会社の依頼による喘息患者を対象とした RO5490255 の第Ⅲ相試験

(中外)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒(2015.4.20) 治験分担医師の削除の変更について審議した。

審議結果:承認

16) 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による COPD 患者を対象としたチオトロピウム+オロダテロールの COPD 増悪に対する効果を評価する第Ⅲ相試験

(日本ベーリンガーインゲルハイム)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒(2015.4.27) 説明文書、同意文書、被験者の募集手順(広告等)に関する資料の変更について審議した。

審議結果:承認

17) 塞栓源を特定できない塞栓性脳卒中(ESUS)発症後間もない患者を対象とする再発性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制におけるリバーロキサバン(15mg 1日1回投与)のアスピリン(100mg)に対する有用性を検討する多施設共同、無作為化、二重盲検、ダブルダミー、実薬対照、イベント主導型、第Ⅲ相優越性試験(NAVIGATE ESUS)

(バイエル薬品)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

審議結果:承認

18) COPD 患者を対象に QVA149 の有効性及び安全性をサルメテロール/フルチカゾン(実対照薬)と比較する試験

(ノバルティスファーマ)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

⇒(2015.4.27) 治験分担医師、説明文書、同意文書、治験参加カード、治験契約書第1条の

変更について審議した。

審議結果:承認

- 19) 特発性間質性肺炎 (IIP) に伴う症候性肺高血圧症患者におけるリオシグアト錠 (0.5mg、1.0mg、1.5mg、2.0mg 又は 2.5mg の 1 日 3 回投与) の有効性及び安全性を検討する無作為化、二重盲検、プラセボ対照、第 II 相試験

(バイエル薬品)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

⇒ (2015. 4. 15) 治験分担医師の変更について審議した。

審議結果:承認

- 20) 中外製薬株式会社の依頼による第 II 相試験

(中外)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

⇒ (2015. 4. 2) 治験分担医師の変更について審議した。

審議結果:承認

- 21) 特発性肺線維症 (IPF) 患者を対象に、BIBF1120 を長期間経口投与したときの安全性を検討する非盲検延長試験

(日本ベーリンガーインゲルハイム)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

⇒ (2015. 5. 11) 治験実施計画書、治験薬概要書、同意説明文書、被験者への支払いに関する資料、治験分担医師の変更について審議した。

審議結果:承認

- 22) 日本人の特発性肺線維症患者を対象に、ピルフェニドン治療に加え BIBF 1120 を長期間投与した際の忍容性、安全性を検討する第 II 相非盲検フォローアップ試験

(日本ベーリンガーインゲルハイム)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒ (2015. 5. 11) 治験実施計画書、治験薬概要書、同意説明文書、被験者への支払いに関する資料、治験分担医師の変更について審議した。

審議結果:承認

- 23) アストラゼネカ株式会社の依頼による特発性肺線維症患者を対象とした CAT-354 (tralokinumab) の第 II 相多施設共同二重盲検試験

(アストラゼネカ)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒ (2015. 4. 27) 治験分担医師の変更について審議した。

審議結果:承認

- 24) 日本人慢性心不全患者を対象としたエプレレノンの心血管イベント死及び心不全による入院への効果を検討する第 3 相試験(無作為化プラセボ対照二重盲検比較試験)

(ファイザー)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

⇒(2015.4.28) 治験分担医師、治験分担医師、治験分担医師、治験分担医師の変更について審議した。

審議結果:承認

25) 大塚製薬株式会社の依頼による発作性及び持続性心房細動患者を対象とした OPC-108459 の後期第 I 相試験

(大塚)

⇒(2015.4.30) 治験契約書第 1 条(本治験の内容及び委託)の変更について審議した。

審議結果:承認

(その他)

1) SOP 変更について

治験審査委員会委員定数等の表記に関する変更

審議結果:承認

【報告事項】

(終了報告)

1) ONO-1162 第 II 相試験 慢性心不全に対するプラセボを対照とした多施設共同二重盲検無作為化並行群間比較試験

(小野)

2) 2 型糖尿病 (DM) 又は中等度の慢性腎臓病 (CKD) を有し、左室収縮機能低下を伴う慢性心不全の増悪 (WCHF) のため緊急来院した日本人患者における、BAY 94-8862 の安全性及び有効性をエプレレノンと比較検討する多施設共同、無作為化、ダブルダミー法による二重盲検比較試験

(バイエル薬品)

【次回開催日】

平成 27 年 7 月 27 日(月) 17 時 30 分より